

園だより



令和7年度5月1日

社会福祉法人 新田保育園

園長 大西 陽子

「人を育てるという事」

新年度が始まり、あっという間に1カ月が経ちました。新園庭「どんぐりの庭」で過ごす日も増え、子どもたちは日の光を浴びて毎日大きくなっています。

0歳児みかん組は3人の新入园児を迎え入れ新年度がスタートしました。初めての環境に泣いて思いを表現する子もいましたが、少しずつ慣れてきました。今では玩具や周りの景色、友だちや職員に手を伸ばす姿も見られています。1歳児りんご組は5人の新入园児を迎えて始まりました。環境が変わり落ち着かない場面も見られましたが、「今日はどんな遊びをしよう」「この子の好きな事はなんだろう」と沢山考えて進めてきました。好きな事、眠りの癖など子どもの事を一つずつ知ることを重ね、今では新入园児も進級園児も安心して過ごしています。2歳児ことり組も一通り探索を重ね、新しい生活を受け入れるとごっこ遊びを楽しみます。言葉も巧みになり、自ら保育者を巻き込んで遊びだす姿に頼もしさを感じます。3歳児ひよこ組は今年もテーマ保育を実施中。4月は「泥」をテーマにどんぐりの庭で沢山遊んできました。乾いた土はチョコレートに雨上がりの土はハンバーグにと見立ての世界も広がりを見せています。4歳児りす組は子どもたちの要望により、当番活動を始めました。給食の配膳では一人分ずつ一皿ずつ時間をかけて配布しています。今後の変化を楽しみに見守っている所です。5歳児ぞう組は合宿に向けての話し合いが始まっています。山登りの順番一つを挙げても、役割や一人ひとりの得意な事、苦手な事など子どもたちが考えを出し合いながら進めています。自分の事、友だちの事を理解している事が話し合いの基盤になってきます。5年間一緒に過ごしてきたぞう組だからこそ、できる事でもあります。

話は変わりますが、先日Instagramの広告で赤ちゃんをトントンして寝かしつける人形を目にしました。なんともやるせない気持ちになりました。世の中はどんどん便利になっています。ですが、何でもかんでも便利が一番ではないと私は常々、思っています。特に人間を育てるという事に対しての便利さは大人が見極めて選択しなくてははいけないと思います。いつでも完璧な親でい続ける事は誰だって困難です。私自身、泣いた時も、時には腹がたって皿を乱暴に片づけた事もあります。頑張り続けてとは思いません。ただ、向き合う事が必要な時に向き合わずにいると、一見うまくやり過ごした気持ちになるかもしれませんが、それは乗り越えたのではないので後でまた向き合う事が必要になってくるのです。乳幼児期の関わりが思春期の姿に現れるといった、向き合い方が難しくなった時期にやってくるという経験談は多数聞きます。食べない我が子に

「どんな物が好きかな」「どんなふうに切ったら食べたかな?」「どんな環境の時に食べる事が多いかな」と、頭や心を費やした分、必ず子どもの心の育ちに繋がります。すぐに、目に見えるような結果が見えなくても先に述べたような近い未来を想像して人を育てるという事を考えていきたいですね。

保育園は唯一、密に保護者と先生と一緒に子育てに向き合える場所だと思っています。今後も子どもを真ん中に一緒に進んでいきましょう。

文責：石井 あゆみ



5月の予定

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
5月	頭ジラミチェック								誕生会・写真の日				健康体育（3・4・5歳児）	健康診断（0・5歳児）		ぞう組合宿荷物点検					ぞう組合宿										

